



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 寺崎電気産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6637 URL <http://www.terasaki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 寺崎 泰造

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室室長 (氏名) 高木 大吾 TEL 06-6791-2701

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日—

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	24,981	△6.4	1,524	0.4	1,915	7.1	1,223	6.0
2020年3月期第3四半期	26,687	2.4	1,518	89.9	1,788	39.6	1,153	△2.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,437百万円 (111.6%) 2020年3月期第3四半期 679百万円 (3.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	93.87	—
2020年3月期第3四半期	88.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	46,235	32,562	70.4	2,496.69
2020年3月期	46,767	31,439	67.1	2,410.35

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 32,529百万円 2020年3月期 31,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2021年3月期	—	8.00	—		
2021年3月期 (予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,220	△6.8	1,700	△29.5	2,100	△25.9	1,400	△31.2	107.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	13,030,000株	2020年3月期	13,030,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,021株	2020年3月期	1,021株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	13,028,979株	2020年3月期3Q	13,028,979株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束をする趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大（以下、感染症といいます。）の影響による厳しい状況が一時的に緩和し、経済活動の再開が段階的に進められることで回復基調となっていました。当四半期連結会計期間からの感染症再拡大の影響により、先行きは不透明な状態が続いています。

米国においては、情報関連を中心とした設備投資に持ち直しの動きがみられましたが、感染症の再拡大により景気回復の足取りは鈍くなっています。欧州及び英国においても、感染症の再拡大により経済活動が抑制され、景気は弱い動きとなっています。一方、各国に先駆けて経済活動を再開した中国では、政府による投資促進策や消費刺激策の実施に加え、海外の経済活動再開等に伴い輸出が増加したため、景気回復が持続しました。その他の新興国については、景気の持ち直しがみられていましたが、一部の国では感染症の再拡大により、景気回復の動きが弱まりました。

わが国においても、経済活動の段階的な再開に伴い、景気の持ち直しの動きがみられていましたが、感染症の再拡大により、先行きに不透明感が漂いました。

当社グループを取り巻く経済環境は、国内において、感染症の影響による企業収益の減少や、先行き不透明感の影響もあり、設備投資は低調な動きとなりました。海外における設備投資は、総じて持ち直しの動きがみられましたが、感染症の再拡大により停滞する懸念があります。当社の主要顧客である造船業界においては、依然として船腹需給のバランスは回復せず、船価及び受注量の低迷が続いています。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は、船舶用システム製品（船舶用配電制御システム等）の高付加価値船、産業用システム製品（産業用配電制御システム等）の国内プラント向け、及び海洋環境規制関連工事等が堅調に推移したものの、機器製品（低圧遮断器等）が減少したことにより、24,981百万円と前年同期比6.4%の減少となりました。営業利益は1,524百万円と前年同期比0.4%の増益、経常利益は1,915百万円と前年同期比7.1%の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,223百万円と前年同期比6.0%の増益となりました。

製品別の売上高は、システム製品（配電制御システム等）が14,421百万円と前年同期比1.0%の減少、機器製品が10,559百万円と前年同期比12.8%の減少となりました。

システム製品の受注高は、メディカルデバイスの臨床検査機器が増加するものの、医療機器及びアジアでの船舶用システム製品が減少し、前年同期を1.4%下回る15,258百万円となりました。しかしながら、受注高が売上高を上回ったことにより、受注残高は前連結会計年度末より836百万円増加し、17,084百万円となりました。

なお、機器製品は、計画生産を行っているため、上記受注高、受注残高には含めておりません。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりです。

「日本」

船舶用システム製品は、コンテナ船が減少したものの、LNG船及び陸電供給システム等が増加したことにより、売上は前年同期と比べ若干増加しました。

産業用システム製品は、海外プラント向けが減少したものの、国内プラント向け及びコージェネレーションシステム等の分散型エネルギー関連向けが増加したことにより、売上は前年同期と比べ増加しました。

メディカルデバイスは、新型コロナウイルス検査関連機器が増加したものの、感染症の拡大により医療機器やその他の臨床検査機器の新規設備投資が減少し、売上は前年同期と比べ若干減少しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスは、産業向けエンジニアリング案件が減少しましたが、海洋環境規制関連工事が堅調に推移し、また国内鉄道関連施設のエンジニアリング案件もあり、売上は前年同期と比べ若干増加しました。

その結果、システム製品全体の売上は前年同期と比べ増加しました。

機器製品は、国内の設備投資が低調に推移したこと、及び感染症の拡大による経済活動制限の影響が継続したことにより、機器製品の売上は前年同期と比べ減少しました。

その結果、当セグメントの売上高は15,939百万円と前年同期比2.5%減少したものの、セグメント利益は1,397百万円と前年同期比9.8%の増益となりました。

「アジア」

船舶用システム製品は、感染症による経済活動制限の影響により、売上は前年同期と比べ減少しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスは、中国において海洋環境規制関連工事が堅調に推移したものの、感染症による海外渡航制限の影響が継続したことにより、売上は前年同期と比べ減少しました。

機器製品は、マレーシアにおいて感染症による約1ヶ月間の操業停止を命じられたこと、及び東南アジアにおける経済活動制限の影響により、売上は前年同期と比べ減少しました。

その結果、当セグメントの売上高は5,860百万円と前年同期比20.2%の減少、セグメント利益は572百万円と前年同期比32.4%の減益となりました。

「ヨーロッパ」

機器製品は、英国内向け及び欧州向けが堅調に推移し、売上は前年同期と比べ増加しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスは、感染症による経済活動制限の影響により低調に推移し、前年同期と比べ減少しました。

その結果、当セグメントの売上高は3,181百万円と前年同期比6.5%の増加、セグメント利益は121百万円と前年同期比20.0%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、現金及び預金が前期末比818百万円及びたな卸資産が前期末比307百万円それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が前期末比1,498百万円減少したこと等により、流動資産は前期末比444百万円減の32,897百万円となりました。固定資産では、有形固定資産が前期末比42百万円増加した一方、退職給付に係る資産が前期末比122百万円減少したこと等により、前期末比87百万円減の13,337百万円となりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前期末比532百万円減の46,235百万円となりました。

負債の部では、支払手形及び買掛金が前期末比611百万円、電子記録債務が前期末比262百万円及び未払費用が前期末比242百万円それぞれ減少したこと等により、流動負債は前期末比1,212百万円減の10,551百万円となりました。固定負債では、繰延税金負債が前期末比62百万円増加した一方、長期借入金が前期末比456百万円減少したこと等により、前期末比443百万円減の3,121百万円となりました。

その結果、負債合計は前期末比1,656百万円減の13,672百万円となりました。

純資産の部では、退職給付に係る調整累計額が前期末比190百万円減少した一方、為替換算調整勘定が前期末比377百万円増加、加えて、親会社株主に帰属する四半期純利益1,223百万円の計上により利益剰余金が前期末比910百万円増加したこと等から、純資産合計は前期末比1,123百万円増の32,562百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期連結業績予想及び配当予想につきましては、2020年8月12日開示の「2021年3月期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想及び配当予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,172,228	11,990,704
受取手形及び売掛金	12,381,770	10,883,702
商品及び製品	3,604,142	3,957,954
仕掛品	3,435,462	3,457,726
原材料及び貯蔵品	2,176,926	2,108,506
その他	881,018	734,066
貸倒引当金	△308,909	△234,680
流動資産合計	33,342,639	32,897,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,453,072	8,521,836
減価償却累計額	△4,043,604	△4,252,158
建物及び構築物 (純額)	4,409,467	4,269,677
機械装置及び運搬具	6,364,927	6,616,579
減価償却累計額	△5,340,667	△5,570,401
機械装置及び運搬具 (純額)	1,024,260	1,046,178
工具、器具及び備品	7,539,208	7,679,960
減価償却累計額	△7,187,765	△7,327,602
工具、器具及び備品 (純額)	351,443	352,357
土地	2,698,196	2,698,489
リース資産	791,116	848,111
減価償却累計額	△178,806	△269,463
リース資産 (純額)	612,310	578,647
建設仮勘定	293,398	486,219
有形固定資産合計	9,389,077	9,431,570
無形固定資産		
その他	129,162	94,142
無形固定資産合計	129,162	94,142
投資その他の資産		
投資有価証券	223,678	252,727
退職給付に係る資産	3,091,408	2,968,482
繰延税金資産	384,483	388,387
その他	1,264,755	1,259,972
貸倒引当金	△1,057,288	△1,057,959
投資その他の資産合計	3,907,037	3,811,611
固定資産合計	13,425,276	13,337,324
資産合計	46,767,916	46,235,304

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,636,196	3,024,270
電子記録債務	3,229,758	2,967,551
短期借入金	480,000	480,000
1年内返済予定の長期借入金	767,380	648,825
未払法人税等	402,135	361,140
未払費用	1,653,567	1,411,339
製品保証引当金	127,553	125,858
その他	1,466,895	1,532,348
流動負債合計	11,763,487	10,551,333
固定負債		
長期借入金	1,539,980	1,083,000
繰延税金負債	761,018	823,396
退職給付に係る負債	548,318	537,457
その他	715,802	677,267
固定負債合計	3,565,118	3,121,121
負債合計	15,328,606	13,672,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,236,640	1,236,640
資本剰余金	2,244,650	2,244,650
利益剰余金	27,799,920	28,710,226
自己株式	△1,433	△1,433
株主資本合計	31,279,777	32,190,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,220	46,587
繰延ヘッジ損益	△6,083	—
為替換算調整勘定	△1,295,888	△918,238
退職給付に係る調整累計額	1,401,310	1,210,943
その他の包括利益累計額合計	124,558	339,292
非支配株主持分	34,974	33,473
純資産合計	31,439,309	32,562,849
負債純資産合計	46,767,916	46,235,304

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	26,687,317	24,981,651
売上原価	19,399,527	17,981,108
売上総利益	7,287,789	7,000,543
販売費及び一般管理費	5,769,468	5,475,839
営業利益	1,518,321	1,524,703
営業外収益		
受取利息	99,472	62,140
受取配当金	11,968	6,255
為替差益	147,781	—
デリバティブ評価益	—	185,224
雇用調整助成金	—	266,598
その他	60,102	82,530
営業外収益合計	319,324	602,750
営業外費用		
支払利息	26,788	25,459
為替差損	—	185,584
デリバティブ評価損	21,813	—
その他	564	650
営業外費用合計	49,165	211,694
経常利益	1,788,479	1,915,759
特別利益		
固定資産売却益	264	2,318
投資有価証券売却益	80,239	—
特別利益合計	80,503	2,318
特別損失		
固定資産除却損	5,879	490
投資有価証券評価損	43,694	—
減損損失	27,594	—
特別損失合計	77,168	490
税金等調整前四半期純利益	1,791,815	1,917,587
法人税、住民税及び事業税	526,589	556,585
法人税等調整額	111,593	138,001
法人税等合計	638,182	694,587
四半期純利益	1,153,632	1,223,000
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△33	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,153,666	1,223,001

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,153,632	1,223,000
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,360	21,367
繰延ヘッジ損益	2,331	6,083
為替換算調整勘定	△287,773	377,650
退職給付に係る調整額	△146,451	△190,366
その他の包括利益合計	△474,252	214,734
四半期包括利益	679,379	1,437,734
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	679,413	1,437,735
非支配株主に係る四半期包括利益	△33	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて

当第3四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染症拡大による当社グループの事業への影響に関する会計上の見積り等に用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	日本	アジア	ヨーロッパ	
売上高				
外部顧客への売上高	16,354,199	7,344,891	2,988,226	26,687,317
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,723,558	2,923,151	9,755	6,656,464
計	20,077,757	10,268,042	2,997,981	33,343,782
セグメント利益	1,273,275	847,040	101,477	2,221,792

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,221,792
セグメント間取引消去	△32,753
全社費用(注)	△670,718
四半期連結損益計算書の営業利益	1,518,321

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計
	日本	アジア	ヨーロッパ	
売上高				
外部顧客への売上高	15,939,530	5,860,267	3,181,853	24,981,651
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,103,094	2,389,080	12,345	5,504,520
計	19,042,624	8,249,348	3,194,199	30,486,172
セグメント利益	1,397,867	572,776	121,728	2,092,372

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,092,372
セグメント間取引消去	102,569
全社費用(注)	△670,238
四半期連結損益計算書の営業利益	1,524,703

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。